

インフラマネジメントテクノロジーコンテスト_2022 採点基準

応募要項記載審査項目	審査の方針	着目点	参考
現状の課題の把握	課題抽出プロセスに対する評価	課題抽出プロセスの妥当性	問題が大きい、数が多い、お金がかかるなどの多様な視点によりインフラ危機を発見する。
		課題に関するデータ分析方法の妥当性	
		課題解決の難易度	
		課題の具体性	
		SDGsへの配慮の程度	
地域へのインパクト	地域に与える好影響の度合いに対する評価	影響度の大きさ	地域の役に立つインフラ危機の解決方法を考える。
		影響範囲の大きさ	
		住民に対するアピール度	
		住民への作用度	
		地域に対する副次的効果の大きさ	
クオリティ	企画のクオリティに対する評価	デザイン力の高さ(概要書(A3))	インフラ危機の解決方法やプロセスをかつよく見せる。
		デザイン力の高さ(プレゼン動画)	
		ストーリー性の高さ	
		アピール度の高さ	
		読み手・利き手への配慮(理解のしやすさ)	
オリジナリティ	アイデアのオリジナリティ	独創性・独自性	みんながビックリする、地域の特徴を踏まえたインフラ危機の解決方法を考える。
		日本らしさ	
		地域らしさ	
		発想・技術の展開力・応用力	
		既存価値観とのギャップの大きさ	
チームワーク	チーム構成に対する評価	メンバーの多様性	多様なスキルが集まった、リーダーシップが機能する高専生らしいチームを構築する。
		役割分担の妥当性	
		リーダーシップ・牽引力の期待度	
		連携意欲の強さ	
		学びの効果の大きさ	
ボーナスポイント	上記にない評価項目	世界へのアピール度	計画性が高く、注目されるプランを構築する。
		他の施策・対策等との相乗効果	
		短期目標、長期目標の具体性	
		将来見通しの妥当性	
		社会的な費用対効果の高さ	